早稲田大学日本語研究教育センター
ヴー.ドウ.ア

コンピュータ・必要な道具

目次：

１ － 動機
２ － デイスカッション・コンピュータ道具どおりに相談する。
３ － 結論

動機

私にとって「コンピュータ・必要な道具」とは２１世紀ー情報年代に入り、技術が絶えず進歩しており、コンピュータは大変強く、活発機能と共に応用が極めて発展されたので、生活と事業のために、パソコンは能率的な道具、段々必要な物になり、私たちと共に生きる。確実に、コンピュータ技能を是認しなくてはいけない。パソコンが支えられて、人間関係が深くなり、便利な居住環境が所有される。個人的に、パソコンを道具として使う時、次の三つの側面があると思う。コミュニケーション道具、シミュレーション道具、思考道具ということである。

コミュニケーション道具
人間存在のために、生きる物は空気、水、食糧以外に,発展社会に達したために、四つ目はコミュニケーションということだ。コンピュータが必要という原因がたくさんあるが、一番重要なのはコンピュータの最高機能はコミュニケーションである。ソフトワェア応用と共にパソコンは１番便利な通信交換の環境で、「電子コミュニティ」を形成して行く。しかも、従来のコミュニティにはない、基本的に誰も自由にアクセスできるという機能性を持っている。想像どおりにネットワークはくもの巣ようなネットで､どこの立場から簡単に目標が行ける。パソコンの前に座っているうちは同機の力に実感することがうかがえる。

皆さんと同じように、留学生だから家族や友達と会う機会がほとんどないので、しばしば連絡は大切なことになった。インタネットは糸のように、皆に仲良くかかる。Ｅメールを送り、ネット電話をかけ、自分は家族の人や友達とお互いに関係が深く行く。また、研究のために、インタネットの情報・交換するのは全くいい環境だと思い勝つ。知的な最大電気図書館のようである。

だが、私の見方を言えば、一番長所は仕事のために役立つということだ。他の機械より強力に情報を受信、送信するのだ。この可能性に頼れて、現在私は家庭にいながらにして、パソコン・ネットワークで外部と結びつけられた仕事ができるようになりつつある。電子メールやインタネット電話やファクスやWebsiteなどの役割と指示したい。つまり、家庭が新たな生産の場になっていくと考えられている。SOHO（Small Office&Home Office）という意味だ。そ

のため、２０００年私たちは三つの日本の建設会社と共に協力して、ベトナムにオフィスを開き始めた。インタネット、社内ネットワークを通して、日本の企業からの仕事を受け、専門家と相談しており、日本の会社と計画内容を取り替える。後で、熟練なエンジニア・ベトナム人は設計図が完全にし終わったら、また日本に送り返す。

これは学生時代から希望を持っているが、故郷に住んでも、外国の企業と協同し、働くということである。自分の国の開発に貢献したいと考えている。次の年同じ仕方で、私たちは日本との企業ではなく、他の国と関係に開放する予定に入った。明らかに、インタネット・情報橋ような役割によって、距離の制限がなくなった。未来、外側に交流する時、機械はパソコンしか要らないだろう。

シミュレーション道具

人間の生活の要求が段々増えて行き、新しい手段が一歩一歩に古い物の代わりに利用されているの傾向がある。存じどおりに、コンピュータを登場してから、シリーズの計算器やタイプライタや電信機などにほぼ替わった。

パソコンは多目的機械なので、それぞれ分野中に、使う人によって、もらえる利益が違う。手短に言えば：早い、強力、便利、安い。通信・連絡手段角度から、パソコンを利用すれば、速度が高い、電話代が安くなり、特に、国際電話場合は約１０分の１しかかからない。例えば、PC to PC, PC to Phone などのサービスである。普通のファクスは１枚を伝える時間と比べてパソコンは１００倍の容量ファイルを正確に送れるので、私はパソコンを電話やファクスの代わりに使うのが便利だ。毎日自身企業のために,多数のインフォメーションを交換する要求があるため、パソコンはもっと効果が進むと思う。パソコンを使わないと、活動の値段が高く、設計の値段も上がり、競争が難しくなり、企業を続けるかもしれない。

エンタテインメント部分は生活の中に必要と思う。仕事のストレスに悩んでいるのが減って来る。 パソコンは多様な余興機械が見られるが、音響品質と映像画素も他の受信設備より高質の可能性共に、パソコンで、音楽を聞いたり、ビデオを見たり、カラオケをしたり、ゲームをやったりしている。自分の家で、ラジオやテレビをたいてい付けないようになってしまった。やはり、直線技術や通信衛星を通して、パソコンはパラボアンテナが要らずに、多チャンネルが受けられるし、ただ今、約 160 通信社インタネットで直接に放送しており、無数音楽や余興チャンネルが出て来た。自分は好きな番組自由を選べる。同時に、DVD, MD が読める。さらに、色々なゲーム・ディスクを対応することもできる。

パソコンに結合する新しい機能は絶えず多くなっている。同機は科学技術や通信の応用に支えているだけでなく､あまり小さいな効用があり､直接に人たちの日常生活の条件に与える。ソフトワェアに支援されると、パソコンは目に見えない付属品を供与す。例えば、音楽に関心を持てば、パソコンは作った幻影の楽器（Visual Instrument）で余興し、作曲もできる。あるいは単純なソフト応用を通して、パソコンは音波を出して、部屋の中に虫（蚊、ゴキブリ）やネズミがいないようにする。

思考道具

近い未来、思考力コンピュータを所有するチャンスがあると思う。今まで想像どおりパソコンは普通の機械だが、数年後、同機は考えることができるそうだ。人たちと喋り、気持ちや喜びや寂しい態度を共にする。擬人パソコンと言うの技術である。私たちは家でもう一人の友達のようがいる。

それから、ほとんどの家庭設備ホーム・ネットワークや赤外線を通して接続し、自動的にコントロールすることもできる。例えば、季節によって部屋の温度、浴槽のお湯レベルなどがコントロールされてくれる。自分はその機械を使い希望が強く持っており、本当にすぐ使いたいだが、残念ながら、市場でまだ出てないからである。

実際は私が新しいコンピュータを所有したい､新応用を研究したい気持ちを持っているため、コンピュータとする時間は約１日に７－８時間が上回る。さらに、毎年１，２台を買わなければならない｡人々は独特の興味を持って､コンピュータを使う人はプライベート目的も違う。私は同機の可能性を搾取する部分は少しだけと思うが、しかし、そのように利用すると日常生活や私的な事業のために、絶対必要な物だと思っている。

ディスカッション

上記のコンピュータ道具にとして私は George さん、さえりさん（以下 A,G,S という）とコミュニケーション道具、シミュレーション道具に注目し、様々なディスカッションをした。皆の意見をまとめ、メインポイントを示したいと思う。

G: 情報を交換する、私は最初からそういう書きたいですけど、実は専門やビジネスの関係だけではなく、自分と家族や友達とのコミュニケーションを書きました。勿論家と外部関係もあります。

A: 僕は同じですけど、毎日家族とＥメールで連絡し、時々友達メールを書いてます。誰もそのようなことをやってますが、自分にとって一番重要なのはパソコンを使えば、色々な仕事を他の国と交換することができます。

G: 私の家族は国々住んでいますが、家族の人と合う機会があまりないから、毎週メールをして写真を送って皆さんはすぐお互いに様子が分かるようになります。だから、自分と家族の関連は一番大切だと思います。

S: 普通の人とコンピュータとしてコミュニケーションとどういうふうに違う。何か足りないことがありますか。

A: まず、パソコンは一つのコミュニケーション道具だけだと思いますが。直接的なコミュニケーション以外に交流と連絡なのに、Ｅメールはとても便利だと思ってるんです。仕事のためにいいけど、人間の関係がなかなかたりないんです。相手の感じがよく分からないなのです。ただし、関係のケースによって違います。例えば、誰とまだ直接合いたくない、話したくないとメールをしたほうがいいと思います。

S: 私にとってコンピュータはすごく便利、E メール、大学の宿題を書くためにほとんど毎日使ってる、でもきらいなんです。E メールだけ伝わない感じをする、相手の人は絶対分からないからです。それに、メールを読んだら、気持ちをすぐ消えてしまった。友達と会ったり、話したりして、手紙をもらったらうれしい、だから、大事な人、友達に自分は手紙を書くんです。できれば、直接電話をしたいんです。

A: 私も毎日 E メールをしても、もし一ヶ月家族から手紙をもったらとてもうれしい気持ちになって来る。でも、メールばかりしてもいいです。

S: アさんにとって仕事は大事ですね、仕事としてどういうときうれしいですか。

A: 結局、自分の夢です。自分の国に住んでも、たくさんの外国と協力して、働き、母国の発展のために役立ちます。今までパソコンのおかげで、夢が次第にかなうので。よく喜んでいます。だから、パソコンは絶対に大切物です。

人々の別々立場から見ると、コミュニケーションを考えている。パソコンの役割について人によっても違う。一般的にコミュニケーションについて、誰もパソコンはとても便利な機械に賛成している。生活でも仕事でもうまく続き、関係は広くなって行く。しかし、パソコンは全く冷静物だから、パソコンを交流の手段だけと見なして欲しい。人と人の関係、社会関係もとは複雑な生き物だと知っているが、具体的なケースによってパソコンだけ使えば、足りるか足りないか自分で考えなければならない。だが、私にとって一番重要なのは個人的な仕事・外国と計画を取り替えるために、パソコンはずいぶん役に立つ。また、昔は他の国と間接な交換するプロジェクトが不可能なことのようだが、ただ今パソコンで、コミュニケーション道具の達成のおかげで、できるようになっていた。

A: 最近色々な機能がパソコンに入れられますので、全部他の通信手段の代わりに使うかもしれないけど、増える傾向があります。私の考えどおりに電話、ファクスぐらい今まで代わったんですが、他のもの例えば、テレビやカラオケやゲームなど替わると思いますか。

G: 勿論ですけど、例えばインタネットを通して、好きな番組自由に見ることができる。それからたくさんの機能がパソコンに入れて、役立ちます。例えば HTPC（Home Theater Personal Computer）というパソコンです。でも、使い方をしている人はやはり少ない、プログラムの意味が分からなく、使えない。もし、やり方が簡単になると使い人が増えるはずです。

A: まだ普及しないから、パソコンが使える人だけ使いますね。

G: それに一般人がパソコンはパソコン、テレビはテレビと思っていますが、接続して、一緒に利用するのもまだ考えない。

A: S さん、もしパソコンはテレビ同じように簡単使うと、パソコンとテレビどちらが選んで使いますか。

S: 家のパソコンが見られるか見られないか、でもテレビはテレビを見てます。でも、パソコンの見方が分かったら、パソコンで見るかもしれない。今やり方は知らないからです。

A さんどうしてパソコンを使いたいのか。

A: 勿論、企業のためにパソコンを使う部分はたくさんありますけど、自身の興味もパソコンということです。もし誰か同機に関することを頼んでいて、私はいつもうれしくやります。それにとしてソフトやサービスなどを研究したい登録したいと思ってるんですから、普通のテレビやラジオを使いたくなくなりました。

現在、その上のサービスを使う要求がいる人は増えると見えるが、登録や使い方は複雑だから、まだ広く普及しない。私たち・パソコンが好きな人だけ利用したいと思う。１、２年後パソコンが進歩向上の同時に応用も携帯電話のような簡単に設定すれば、パソコンを選ぶ人が増加の一途をたどっているはずだ。

ところで、便利な物を考えているだけでなく、自分はパソコンに関心を持っているため、同機の前に座っている時、いつも喜んでいる。長い時間パソコンと共に生きるかもしれないなのだ。ソフトウェアは勿論、ハードウェアに関することも興味もある。だから、独特の目的によると、コンピュータの部分別々に買い、組み立て、使う。例えば、もっと高級の AV（音響・映像）を欲しいと、グラフィックを支える部分を入れる。

結論

最後は思考道具・未来的道具について、その技術はまだ若いから、私と同じように皆は完全に想像ができない。ただし、そのパソコン売り出せば使って欲しがっている。考え、話し、気持ちを表現し、本当に暖かい物になるから、楽しみに使う。長い時間パソコン前に座るでも、元気に続け過ごす。それにパソコンは自身で市場のデータを集め、分析し、株式相場、市況を予測しなど、利用者にコメントを出してくれる。

現代の傾向は家電機械・エアコン、炊飯器などにコンピュータ部分を入れ、パソコンに接続することができる。パソコンを通して調節する。しかし、その物の値段が安くなり、まだ流行っていない。国によって使うか使わないかよくわからずに、ベトナムでは今年、新しい世の冷蔵庫はホーム・ネットワークにアクセスができる。だから、冷蔵庫中に入っている食物の状況をモニターで表す。簡単に見え、家事をする人のためにずいぶん便利だ。

コンピュータやはり昔は工業､会社で使う物だが､段々国民生活に入って普通の物になった。だが、同機を普及すると、プラス面の影響があるし、マイナス面の影響もある。これは当然の発展規則で、メリットを除いて、コンピュータは子供に悪い影響を及ぼす映像などが簡単に手に入る。それに､コンピュータ技術のせいで､｢情報の犯罪｣というのが増えかねないが、長所のことと比べて少ないだ。国の経済を強く発展すると同じように、豊かな人、貧しい人の間の格差が激しくなるが、発展する傾向が絶対必要だろう。

現在、ヴォイスやイメージなどのサポート可能性があり、同時に、インタネット２世の研究が成功した。しばらく後新しい世は応用すると、送信速度の制限が改良される。使っている

のより概ね１００倍早いである。ファイルの形を送るだけではなく、AV の生放送をする。自身の企業はますます広く続けて行くはずだ。家で会社に行かないで、会議を参加することができるし、国外の会議も見られる。また、具体的な仕事によって、計画をしながら直接に相談し、円滑な進行を図る。今は最後の結果だけ送るが、少し不便である。新制として、企業のチャレンジをたくさん開放すると思っている。自分の事業の夢を現実のものとする。

その上、インタネットのサービスは送信速度が限らないので、多様なサービスを間単に活用すると共に、新機能が設計して続くであろう。その時点では、パソコンを利用者が急速に増大すると信じる。コンピュータは上記した機器以外に、その他物が変わる動向が続く見通す。多分コンピュータは家の壁に飾っている絵と同じような物になるだろう。知的な機能と共にヴォイスで管理ができるので、お年よりもコントロールすることもできる。考えてみれば、生活環境でもっと利点を所有ではないか。その時、私だけではなく、誰も居住と事業のため、コンピュータは不可欠機械を考えると信じる。

生きがい

イ ギョンウン

目次

ー　動機
ー　ディスカッション
ー　結論

動機

今私が、日本まで来てどうして日本語を勉強しているかについて書きたいです。
幼い時から勉強には興味がなくて、友達と娯楽室に行ってゲームをしたり、テレビを見たり、遊ぶのが好きだったし、高校生になってからは毎日お酒を飲むことになりました。ただお酒も好きだったけど、友達とお酒を飲むときの雰囲気が本当に好きで遊んでばかりして一流大学もなかったし、高校生のときからの生活がつけて大学もよく出なかったし、成績もあまりいいほうではありませんでした。その当時は勉強の目的も将来の目標も漠然としていました。それで、気をつけなくては駄目だと思って大学一年が終わってから軍隊に入りました。２４ヶ月の兵役義務が大変だったしかつて接したことのない難しくて苦い経験だったけどいい勉強になったと思います。なぜなら、今までの生活、どうやって生きてきたか、今からどうやって生活したらいいか将来などについて親権に考えるようになったからです。兵役義務が終わり大学に復学しました。
専攻は建築で大学に入る前には将来性もあるし、就職もよくできましたがＩＭＦで不景気になって将来性もなくなったし就職も難しくなりました。そして、専攻が私に会わないと思ってほかの事を探し始めました。
そのとき日本語を勉強し始めたんですけど動機は日本の料理が好きだったし、テレビで長生き国家だといって長生きできる秘訣についていろいろなことが出たんだけどその中で食べ物もありました。それで日本の伝統料理に関心があり、まだ韓国に知られていない料理を学んで韓国で広める料理士になりたかったからです。または日本語の勉強を通じて私も何にかができる！という自信と成就感を感じてみたかったからです。もちろん外国語を勉強するのは決して易しいことではありませんが一生懸命努力したらできないことはないということを日本語を勉強しながら実感しました。
大学卒業と同時に「漢方医学専門書籍出版社」に就職しました。ちょうどその頃日本にある鍼専門会社の技術を取り入れて品質のよい鍼を韓国に普及したいという企画が会社で起

こりました。その計画を実現するためにもっといい環境と実力を伸ばしたいと決意して韓国外国語大学校の研修院も通いました。
しかし、日本語がもっと上手になりたい、もっと日本のことを知りたいと思うようになりました。日本語がもっと上手になるためには日本語の勉強だけではなく日本の文化、歴史、日本の人々の日常生活、考えなど日本の全般的なことを直接体験しながら日本語を学ぶことが重要だと思いました。それで、今日本で勉強することになりました。
後で、習いたいことがたくさんあるかもしれませんが、今、したいことが一つ増えました。私が日本に来る前に手首にけがをしたことがありました。その時、一人で何もできなかったんで本当に不便だったんですが、私より状態が悪い人も多かったです。私も経験したからなんか助けてあげたいと思いました。それで、日本で専門学校に入ってリハビリについて学びたいです。もちろん、韓国にもリハビリ学科があります。
しかし、日本で勉強するのがもっといいからです。その理由は日本が多くの国から技術を導入していいことだけまとめて自分の技術に発展させて使用しているし、それが韓国で使われているからです。そのため日本語が上手にならなければならないです。
一生の中で人生を変えるチャンスがありますが、今、勉強している日本語が、私の人生を変える大きなチャンスになります。
前のように生活したら平凡な（並みの）生活しかできないです。たとえば、生きがいもないでただ生きるために会社と家、家と会社を行ったり来たりするロボットのような単純生活しかできないですが、反面今考えているようにちゃんとできたらほかの人を助けることとあまねく知れ渡る（知らせる）こともできるし、新しい技術とかいろいろなことを探してもっと勉強しなくてはだめですから生き生きとした生活ができるし、生きがいもがあるし、豊かになると思うからです。

ディスカッション

実際に書きたかったことは私にとって日本語は人生を変えるチャンスだということだったんですが動機を見たあらゆる人々に生きがいはなんと思いますか言われて真剣に考えるようになりました。それで生きがいについて話しました。

A：生きがいというのはなんと思いますか。
B：生きがいというのはお酒を飲むことも生きがいができるだと思います。愛してる時とか。
A：自分が生きながら楽しいと思うことが生きがいと思いますか。
B：それも生きがいができるし、ほかの人を助けてあげることも生きがいができると思います。
A：その場合、人を助けてあげるとほかの人が助けて喜んでくれるから私が生きてることが世の中のためだということ？

Ｃ：でも、A さんの生きがいは日本語を勉強することじゃないですか。
しれませんけど。。。
B : もちろんですけど、私のためじゃなくてほかの人を助けてあげることがもっと生きがいがあるんじゃないですか。
A: でも、それがやっぱりわたしのために人を助けることになってしまうんじゃないですか。それでいいと思うんですが、なんか人のために生きることがすばらしいじゃなくて人のためにすることが私にとって必要だという考え！
B : そうですね…私にためじゃなくて…
A : いやだけども人を助けるとき我慢します。
B : 何がいやなの。
A : ほかの人のために助けるっていう考え。
B : いやじゃなくて前はしたいという気持ちというか。考えたことがなかったんですが、私も手首をけがをしたことがあるからそのとき、私も不便だったけど、私より猪子がもっと悪い人がいなした。前はその人を見て別に考えたことがなかったんですが、今は見たらどんなに不便かわかるから何でも手伝ってあげたいんです。それでよくなったらそれを見て生きがいを感じると思います。
Ａ：どうして感じるの。
B : それは、、、

。

B : A さんは生きがいを感じたことがありますか。
Ａ：仕事がすごく面白くて、続けたいと思ってたんだけど、子供ができたから、しょうがなく、やめたんですね。それで私の生きがいがないと思っていたんだけど、子供を生んで育ててるうちにすごく楽しくなって子供が生きがいかも、これをしてることが私がいきてる意味だと思います。それから、、、
Ｂ：人によって違うからそれも生きがいができますよね。
Ａ：私にとって生きがいは生きてる瞬間かな、、、なんだろう。
Ｂ：生きてるだけで生きがいだと話すのが難しいじゃないですか。
Ａ：それはどうしてですか。
Ｂ：もしお金もないし仕事もないし、何もなかったら生きがいがないと思うからです。
Ａ：生きてるだけでそれが生きがいだと思う人はそれでいいんじゃないですか。

。

Ｃ：生きるためには生きがいが必要かな？でもたぶんある時がない時よりいいでしょ。
Ａ：うん、、、あったほうがいいですね。でも、なくても生きてる人が多いからいけるかも知れません。そして、ない場合もこれが生きがいだというほうに思い利かせて生きてる時があるかも知れません。

Ｂ：ほかの問題が出ましたね。

&結論&

若いくせに生きがいについてかんがえるのが早いかも知りませんが、生きがいというのは一口で言うのが本当に難しいと思いました。みんなは生きがいは何ですかと言われたらなんと答えますか。考えたことがありますか。真剣には考えたことがないと思いますが、どうですか。私も同じです。今もよくわからない。
考えれば考えるほど難しくなる気がします。
今まで何をしてきたか。生きがいを感じたことがあるか。前の生活を振り替えて見ても何も覚えださなかったです。本当に生きているか。生きがいだけではなく、いろいろなことについて考えたんですけど、解答はない、何もないんです。
生きているだけで生きがいを感じる人もいるんですが、やっぱり私の考えでは生きがいではないと思います。そして怖い話ですが、生きているのがつらいから死ぬ人もいます。その人も死ぬ時の短い瞬間に生きがいを感じるかも知れないし、楽しい時も感じるし、いろんな時に感じるから人によって違うと思います。
そして大勢の人が自分もわからないうちに生きがいを感じていると思います。
生きがいは一つ、二つ、三つ、その以上にあるかも知りません。
生きがいは人生の中でたくさん作れば作るほど楽しい人生になります。
私にとって生きがいと言うのは私のためではなくて知らない人をたすけてあげることてす。
それでその人がよくなって楽しい生活を過ごしたら、その時、初めて私は私の生きがいを感じます。

&おわりに&

生きがいという言葉の意味が前より本当に難しくなりました。。あまりかんがえないほうがいいです。。死ぬ時に考えましょう。

〜〜今までお疲れさまでした。〜〜

便利

１．動機
２．ディスカッション
３．決論

＃動機＃
最近テーマを決める時には日本に来て電話がなかって困った時を考えました。ふなれて新しい場所に来て道もわからないし電車に乗ることがとても大変でした。道に迷う時も友達に電話をかけて助けてもらいたかったけれどできなかったです。友達が何かをために集まる時にはもっと大変でした。一人ではなく、たくさん集まる時、約束したその前の日にはっきり場所と時間を決めてみんながその時に間に合わなくてはいけなかったです。少し遅くなった人があったら何時間もその人にまたされなければならなかったです。そして私は携帯電話のような便利なものについて考えました。
私は便利なものは私たちのそばになければならないだと思っています。
それでみんなが便利なものについて毎日ありがたさをもって生きなければならないだと思っています。
夏になるとみんなが疲れるだろう。そのとき扇風機とエアコンがなければ・・・
人がおおぜい交通の手段とかビルなどには入りたくないと思います。みんなが蒸し暑いに疲れて大変な夏を遅れるだろう。
大きな旅客船とか飛行機がなければ・・・ごの交通の手段がなかった昔には一度遠い国に行くためには馬に乗ったり小さい船に乗ったりしてたくさん時間をかかって行きました。
馬に乗ったり小さい船に乗ったりするお金がない人は何日を歩いて行けなければならなかったです。重い荷物を持っていけばもっと大変だろう。
私が日本へ来る時パスポートとかいろいろな問題について面倒だと思っていましだが
“もし飛行機がなければ何日をかかって日本へ行くか・・・”と思って楽しい気分で日本へ来ました。
皆さんは手で選択をした事がありますか。たぶんした事がある人は手も疲れて本当に大変だったと思います。もちろんくつしたとかハンカチーなど軽いものはやさしいですがジーンパンツとか大きな洗濯物は洗濯する時は本当に困ります。
最近は洗濯をしてかぞかしてくれるのでもっと便利になります。
昔には夜部屋で生活をするためにろうそうを使いました。直接的に火を使ったので危険だしあまり明るくなかったです。そして子供がいる家ではろうそくがたおれば火事の危険があるから危なかったです。
しかし最近、スイッチを押せば部屋の中が明るくなります。直接的に火を使わなくて電気

を使うことですからろうそうよりもっと安全です。
扇風機、冷蔵庫、洗濯機、エアコンなどがなかったらどうやって生きて来たのかを考えました。もちろんそれがなくても生きます。でもとても不便でしょう。
最近、便利なものが私たちのそばに多すぎてそれのありがたさをみんなが忘れたかも知れません。私たちはこの便利なものについていつもありがたさを持って生きて行かなければなりません。
しかし便利なものが私たちにいつもいいことだけくれるのではなくて悪いこともくれるかも知れません。
たとえばまず電話のことを考えました。電話とか携帯電話はとても便利なものです。でも人がおおぜいいる公共場所でみんなが携帯電話を使ったらうるさくてほかの人に面倒をかけるでしょう。
洗濯機と扇風機もとても便利なものですが子供たちには危ないものになるかも知れません。ぐるぐる回る部分に指が入れば危ないです。
メーモをしておいたことは不便ですが安全にあずかることができます。それに比べてコンピュータは書くことはやさしいんですが内容の全部を忘れるかも知れません。私もそんなことがありました。この総合の宿題をする時コンピュータで宿題を送る時、終わる前にレポートの全部が消えてしまいました。もしノートに書いたらそんなことはなかったでしょう。その時、私はとても腹が立ちました。水道がなかった昔には井戸で水を使いました。それで井戸から家まで水を運ぶことは大変だったです。でも井戸はかれないでしょう。水道は使い方はやさしいですが一度水道館を掃除する時一日中水が出ないこともあります。その時とても不便でした。
私たちがどこでも行こうと思ったら交通の手段が必要です。その時自分の車があればもっと便利になります。
しかしみんなが自分の車を持っていけば道が込んでしまいます。それにそうおんも出るし空気も悪くなります。

&ディスカション&
１．便利なものについてどのくらい考えているかを聞いて見ました。
@私：私たちのそばに便利なものがどのくらいあるだと思うの。
@エルビ：うん。。。ケイタイ。。。分かんない
@私：エアコンと洗濯機、車、電気などは。
@エルビ：あ！そうだ。私はそんなものはいつも私のそばにあったので特別に便利なものだと考えたことがなかった。やっぱりそれも全部便利なものだわ。
＊ エルビさんもふつうの人のような今はいつもそばにあった便利なものについて忘れてしまっていました。でも、私が例を言った時、“あ！そうだ。”といったので彼女もそれを便利なものだと思いそうです。それを見て私の予想、みんなが便利なものについて深

く考えなく、ありがたさを忘れていました。

2.エルビさんが便利なものについていいだと思うか悪いだと思うかについてきいてみました。

@私：今いる便利なものについてどう考えるの。

@エルビ：うん。。。私はそれをもちろん便利だと思ってるが悪いところもたくさんあるだとおもう。

@私：たとえば。。

@エルビ：たとえば自動販売機。

日本では自動販売機がたくさんあるでしょう。タバコの自動販売機がたくさんあるのは問題だと思う。

@私：なぜだか。。。

@エルビ：タバコを吸ってる人にもちろん便利だ。

でもタバコは体に悪いものじゃない。そしてそんなものがたくさんあったらもっと吸うようになりそうだ。

コーラもそうだ。

@私：なるほど。。。

＊ エルビさんも私のような便利なものは両方があったと思っていました。でも、特別に必要ではないものは便利なもので作る必要がないと思っていました。それを作ったらもっと悪いところが多くなるそうです。

２．便利なものはいいところが多いか、悪いところが多いかを聞いて見ました。

@私：便利なものはいいところが多いと思うの悪いところが多いと思うの。

@エルビ：どちが多いのは話せない。

便利なものはいいところだけではない。そして悪いところだけでもない。

いつも両方を持ってる。

@私：そうだ。

エルビさんも便利なものはいつもいいところだけあるのはなく、悪いところもあるだと言いました。もちろん洗濯機、エアコンなどは便利だけど、タバコ自動販売機とコーラ自動販売機などは別になくても大丈夫だと思っていました。

３．今からもっと新しいい便利なものが必要かどうかについて聞いて見ました。

@わたし：今よりもっと便利なものが必要だと思ってるの。

@エルビ：もちろんもっとあったらいいでしょう。生活ももっと便利になるし…

@わたし：でももしもっと便利なものができて悪いことがたくさんできたらどうなるの。

たとえば、コーラ自動販売機とか束小曽同販売機などのような。。。

@エルビ：そうね。でも便利なものがいいところだけあるのはないでしょう。

みんなが悪いところができないように能力をしたら悪いところは少なくなりそうだ。悪いところがぜんぜんできないのは0%で無理だと思う。

@私：そう。そう。

＊　エルビさんは新しい便利なものがもっとあったら生活が便利になるそうです。でも悪いところができないのは 0%で無理だからみんなが能力をしながら作って使ったら本当に役に立ちそうだと思っていました。

&結論&

やっぱりふつうの人たちは便利なものについてあまり深く考えていません。そしてありがたさももちろん忘れてしまっていました。

でも、私が便利なものについてありがたさを言った時、初めて便利なものについて考えていました。今は私たちのそばに便利なものがたくさんあってそれをみんながふつうなものだと考えるかも知りません。

便利なものはもちろん生活に便利ですが必ずいいところだけあるのはないです。いいところと悪いところとどちがいいのも話せなく、全体の便利なものは両方があります。それで体に悪いものとか別に必要ではないものについては開発しなくても大丈夫だ。

今、先からあったものよりもっと便利なものが開発されればもっと便利になりますがそれにとって悪いところも多くなるのも考えなければなりません。それで今から新しい便利なものがあったらみんなが能力をしながら使わなければいけません。

このように私たちのそばの便利なものはいいところを生かして使えば役に立ちますが、その半面に悪いところもあります。だから便利なものの欠点を改善してちょうしょをよく使えて生きるほうがいいと思います。

便利なものをどうやって使えば悪いことができないかを考えました。

夏になるとエアコンと扇風機などの関係のニュースがときとき出ます。車の中でエアコンをつけたまま寝て死んでしまうこととか、部屋の中で窓を閉めて扇風機をずっとつけたまま寝てしまうことがありました。その時、窓を少しあけたりして、寝る時はしばらく消して置いたらもっと安全になります。

週末とかラシュアワーの時には自分の車より電車、バスなどを使ったらもっといいです。

最近、洗濯機を使って手で洗濯をしなくてもいいです。でも真夜中に洗濯機を使ったら騒音が出てほかの人に迷惑をかけるでしょう。できれば洗濯機は昼につかいましょう。

私にとって、便利なものはいいところだけでちょうしょを生かして使えば手数がはぶれて助かると思います。

好きなもの

Ⅱ．ディスカッション

私：　　私には、素晴らしく景色とか、見て失敗した物とか、食べたことのない物と、初めて会う人と、嬉しかったこと、ドキドキしたことと、楽しかったことなどの思い出がまた私を旅行にかりたてるのです。そして何度か旅行をしていて気づいたこと、それは旅行に行く前ってかなり楽しい。旅行の楽しみの１／３は準備にあると思います。それから旅行そのものも楽しいけど、計画を立てて訪れる場所のことを調べるのは好きです。三代さんは、　旅行して一番楽しいことと、好きなものは何ですか？

三代さん：一番旅行で楽しいのは、何かと言うと新しい物を見るのと、なんかそこで友達なんかを手切るでしょ。一人で行くとなんか同じお部屋に泊まった人とかと一緒にお酒を飲んだりするのが好きかな。それから新しい人と出会っていろいろお話したりするのが良いかな。後、旅行に行くと自分の生活から離れているからしかもそこにずっといないからなんか何も責任がないでしょう？働かなくってもいいしそのリラクスできてそれかすごく好き。どいう人と旅行に行くんですか？

私：　　私がまだ小さい頃は、両親にいつも連れられって旅行にいっぱい行っていました、今は大人になって勉強をすることと、またはこれからの自分の将来の生き方に精いっぱい、頑張っています。最近両親と旅行に一緒に行く機会が少なくなりました。　一年に一回は家族皆そろって田舎に行ってバーベキュやったり、山に登ったり乗馬もします。最近はときとき親しい友達と一緒に、仲良く旅行にけっこう行くのが好きになって、時間があったら休みのときは旅行に行くようにしています。

三代さん：なんか旅行に行ってすごく自分が変わったとかそう言う経験がありますか

私：　　そうですね！良い質問ですね。旅行に行くとまず一番に日常生活の大変さをいつの間にか忘れて思い切り旅の楽しさに溶け込で行きます。疲れもとれてなんだか美しくなったような感じもあります。美代さんには何か変わったことはありますか？それから旅行して、どんな人たちと会った? どんな体験をした? 何を感じた?

三代さん：すごく大きな質問ですね三年ぐらい前にタイに行ってそのときに小さい村に遊びに行ったの、でそこは何か電気とかなにもない村でそこへなんかも皆も服もちゃんと着てないし肌足で子供も皆汚いけどかわいかった。でなんか鉛筆とかないから鉛筆とか全部買っていってあげて、で一緒に絵と書いて遊んでたけど！それで僕が変わったかどうか分からないけど何か今までそう言うのが考えなかった当たり前だったことが当たり前じゃなくなる、ま、当たり前に学校行って、当たり前に服着てさ、ま、当たり前に勉強して、だけどそう言うのが当たり前じゃない人達と会ってすごく楽しかった。それは何を考えたかと言われても分からない。今まで考えなかったことを考えるようになりました。

私：　旅行に行く前に何とかに希望を持って好きになって、そこへ行ってみたいなって思って行くのがもうすごく良いと言うかもっと面白いと思います。

三代さん：見たことかないけど好きになるのか？見たことがなかったら俺、好きじゃないかな。好きになると言うと、初めなんか好き言うか例えば旅行だとうタイに行って見たいなってもってでそのタイに行ってみたいというのは自分の生活頑張ることにならないんだな。ただ行って見たいなって持ったら夏休みのときに行って見よって思って。で行って初めてそこでいろいろな人と会って話したり、小さいむらに子供たちと遊んだりしてそれで好きになる。だから見たことがないものを好きだから行くんじゃなくて、行ってから好きになるかもしれない。

私：　一人で旅行に行って新しいお友達が見つからないときと、見つかったときはどうするんですか。

三代さん：ずっと一人だとね寂しくなるよね。でも例えば向こうですごい中良い人が会うそれで一週間ぐらい一緒に旅行して、で別れ離れになるでしょ一人で旅行してそんな時一人すうといるとそれもね何かすごく寂しいんだけどいい感じ。でも一生会わないかも知らないでしょ、中悪くならないじゃん全体週間だけだからああ・良いやつだったとか良い人だったあの人って後にして思い出したり一緒いて楽しかったこと思い出したり、そう言う時一人でいるのがいい。

私：　私もそう思います。一週間だけでもその新しく出会った人々と仲良くなって自分達の生活と性格と今まで旅行したところなどを聞き出し自分と比べたり勉強になったりもします。もちろん分かれるのが寂しいでしょう。まだ会うつもりでお別れをしてもなかなか会えなかたり思い出でだけになってしまうこともあります

ディスカッションの後の感想:

三代さんとディスカッションして本当にいろいろ考えさせられました。

結論

三代さんの聞いたお話と私の考えていたこととは少し違いがありました。

三代さんは一人で旅をすることがけっこう多くて、そして旅行先で新しい出会いして皆でお酒を飲んで、お話をして楽しく旅行することが好きと言っていました。三代さんとちょっと違うところは、私はまだ一人で旅をしたことがないのですが、一人で旅するより誰かと親しい人と一緒に行った方が盛り上がると思います。

旅行先で見つけ出す出会いだけでなく今まで見たことない物、人々の生活と文化もすごく面白くて気持ちがわくわくしてとても楽しいのです。

三代さんとお話をしてなぜか自分達だけが楽しく過ごすことを話しい、誰かのことについて話すのが忘れているように思いました。

私は最後に思ったのは大人になったから友達と一人旅だけではなくて逆に私を大事に育ててくれた両親と時間をつくって一緒に行ったことがないところにつれて行ってあげたいです。も一つは私が老人になった時、自分の孫や子供にも語る楽しい過去をつくり、そして旅行先での写真や思い出の物などを大切に取っておきたいと思っています。

ところで、人が旅をして、新しい土地の風景を自分のものにするためには、誰かが介在する必要があるのではないだろうか。地球を何周しようと、それだけでは私たちは世界の広さを感じることはできない。自分の好きな希望を持ってボジテブに生きるのは本当に楽しく人生の一つだと思っております。（＾ー＾）

おわりに

私はもともと作文とレポートを作成するのが苦手なので総合クラスを受ける時少し不安でした。

これらを書く最初は「何のことについて書こうか」とずいぶんと悩みました。

そこで私は「自分にとって一番大切なことはなんだろう」と思いました。

私にとって一番大切は家族です。父と母と兄弟なのです。私たちは小さい頃からどこへ行っても一緒に行くし、一緒に皆でいて当たり前なことだと思っていました。そこで、前にも書きましたけど、大人になって兄弟皆自分の好きな道を歩き忙しくなって皆そろって旅行に行ったりすることなど少なくなりました。

ここで一私は家族を一番にまとめて、仲良く、楽しくした一部は皆で行った旅行の思い出と写真なのです。

そしてやっと「そうか！自分の好きなことについて書こう」と思いました。もちろん好きなことは誰にでもいっぱいありますが、私の大好きなことは旅行だと気づき、やっと書き終わらせることができました。

このレポート書くのにいろいろ考え、自分が前にも考えたことがないことまでに考えさせられたのでとても勉強になりました。そして日本語で文書書くことにも自身がつきました。

ここまでくるのに学校の先生方にそれにクラスの皆に感謝します。

この文書を読んでくれてありがとう。　　（＾ｏ＾）／

この活動を終えて

星野　百合子

この活動を振り返ると初めて李三のみんなと顔を合わせたときのことが頭にうかぶ。最初「総合」に参加したとき、私は出藍のサポーターだった。しかし３回目の授業で急に李三のリーダーになることになった。李三にどんなひとたちがいるのかぜんぜん知らなかったし、リーダーがわかったことを伝えてみんながどんな反応をするか心配で、すごく不安だったことを思い出す。でも教室に入るとみんなはそこにいて（ムギさんとドヤさんはいなかったけど。笑）いやな顔もしないでわたしの話をきいてくれた。ありがとう！

あれから３ヶ月、だんだんレポートと授業を通してみんなを知っていくうちに、もっとみんなの考えが聞きたくなった。生きがいについてかいたギョンウンさんも友情についてかいたムギさん、イラク戦争についてかいたジュリアさん、便利についてかいたサンミさん、偏見について書いたミヨンさん、旅行について書いたドヤさん、コンピュータについて書いたアさん、漫画について書いたミソンさん、みんなの今考えていることがいろいろなかたちでレポートに表れていておもしろかった。みんなは「ぜったいいやだ！」というと思うけど、３年後くらいにまたみんなのレポートが読みたいです。きっといろいろな経験を通して少しずつ新しい考えや思いをもっているとおもう。それをまた聞かせてほしいなぁなんて思いました。

この活動はみんなの積極的な参加がなければ、本当になりたたないと思う。書くのが大変だとかいやだといいながらレポートを書き直し、授業中いろんな発言をし、最後までこの活動に参加してくれたみんなに感謝します。

私と漫画

廉美仙

目次

1．　動機
2．　Discussion
　　1）　貴方は漫画が好きですか。特に好きな漫画がありますか。
　　2）　漫画が好きな理由は？
　　3）　漫画の人気がある理由が何だと考えますか。

3．　結論

1．動機

私が話したい主題は「私と漫画」です。

私は小学校時代から今まで、約１０年ぐらいの時間に掛けて多くの漫画を読んできました。

漫画は多くのジャンルで分かれます。私はあまりジャンルを問わず、その中でスポーツ漫画が好きです。

漫画は、スポーツ漫画の場合、平凡な主人公が野球とかバスケット　ボールのスポーツをしながら成長して行く過程を描いています。実際にありえる話をしても、ドラマチックな状況を入れて変形させます。周りにある、数多い人々が易しく経験できない事件が主人公には起こって、それで漫画と現実の違いができます。漫画を読んでいる大部の人々は自身ができないことを成し遂げる登場人物を通して嬉しさと満足を感じます。そのメリットのおかげで漫画が人気があると思っています。私も同じように、特にスポーツ漫画を初め少年漫画は単純で主題がはっきり、特有の強いパワーを持つで、複雑な現実を忘れてさせます。どんなに大変なことがあっても、結局解けるのを分かります。私には休息でエネルギと言えます。漫画を読んでいる時には、何も考えなくてもかまいません。気軽に絵を見ながら休むだけでいいです。たまに、漫画を見るせいで寝ないとか、約束に遅くなるとかのことでその以上になる時もありますが。

それで、憧れている世界です。私にはできないこと、つまり凄いなプレーヤーになって大会で活躍しんだり、昔々の事件を経験しんだりするのを読みながら楽しいのは何かとも換えない喜びであります。勿論、小説とか映画もことができますが、想像力の限界と時間的、空間的制約のせいでまんがほどすきではありません。

スポーツ漫画の中で私が一番好きな漫画を例でします。「スラムダンクー」という漫画です。

この漫画は高校に入ったばかりの桜木花道（さくらきはなみち）という少年が、一目に惚れった女子高校生のために始めたバスケット　ボールにいつの間にか夢中になって、バスケット　ボールの実力と共に精神的にも成長して行く話を描いています。漫画なので、まるでNBA選手みたいなプレーもあるし、実際の高校

選手より背もずっと高いですが、漫画というのが元々そんなものではありませんか。

この漫画ではバスケット　ボールをやる高校生たちの姿が主に出しますが、私があそこで見るのはバスケット　ボール場面よりは内容を引っ張っている登場人物の成長です。勿論、競技場面は凄くて、面白いですが、それより多くの味はバスケット　ボールという媒介体を通して成長する高校生たちの姿を見るのです。ただの不良学生だった主人公がバスケット　ボールのプレーを一つずつ習って、新しい人々に会って争って、和解する過程で育つことは除けない喜びです。

派手な競技場面のためにあまり目につかないですが、負傷で運動をやめったが劇的に戻る先輩のエピソードとか、好きな少女に見せる為に遅くまで練習する主人公の純粋な姿、特別などれかにはまって、あの一つを見ながら走っている主人公の魅力は、私が持っていないものをみせます。

私がスポーツ漫画を好きな理由は、少年たちの友情と愛が素敵だからですと言いました。愛は、ある男子が女子を大好きなものだけではないと思っています。夢中になっている何かについて熱情も愛に含まれると思っています。それは私が女の子だから経験できないことについて漠然な憧憬かもしれません。私の現実ではできないこと、それを漫画は成し遂げます。

私にとって、漫画はは休息でエネルギと言えます。

私はそうですけど、漫画を読んでいる他の人達は漫画が好きな理由は何でしょうか。どうして漫画が人気があるのでしょうか。

2. Discussion

私は漫画が好きで、ずっと読みますが、他の人はどうして漫画を読むのかと思って、相手と話しました。

Discussion の相手として自分の意見をおっしゃってくれた方はアイリーンさんと森本さんです。 アイリーンさんと森本さんとはほかの日に話しました。

1） 貴方は漫画が好きですか。特に好きな漫画がありますか。＆　2） 漫画が好きな理由は？

アイリーン

アイリーン　：　私は漫画が好きです。 特に「金田一少年の事件部」とその作家の漫画が好き。この漫画大好き。 そして、怖い漫画も大好きです。

廉　：　怖い漫画の魅力は何だと思いますか？

アイリーン　：　特に雰囲気が怖い漫画が大好き。

廉　：　私は気持ちが悪くなりますが。。。

アイリーン　：　映画を見るような感じ。それがとてもいいです。とても面白いと思います。特に、短い話が好き。

森本

廉　：　見たことがありますよね。いつですか？

森　：　小学校、中学校の時。やはりほかの本よりも展開が早くて、面白い。それで感動しったりするし、テレビとかとは違う魅力があるとかな。

廉　：　好きな漫画の名前は？

森本　：　・・・あれは好きだったのね。今もリバイバルやっている、タッチ。
廉　：　あ、安達充の。。。
森　：　そうそう。あれ好きだった。うむ、面白い。ただの少女漫画よりも面白かった。根性とか、努力とか暑苦しい、以外とさらっと、爽やかな感じで描いてくるから、本当の高校生とかに違い部分もあるけど、話は凄い綺麗で（廉：そうでしょー！私もそんなものが大好きです！）好きなんですね。
下品な漫画もげっこうあるが、面白いだけど、何か、気持ち悪かったり、そう。ユ-モアが凄い低くって、嫌いだね。でも、そういうのも好きな人は好きだから。人気がありますよね。テレビで放送できないことも漫画で描いているし。。
え、と、キャンディーキャンディ。すっごい皆好きだったの。
げっこう、かならず少女漫画で人気があるのには苛める人が出てきて、シンデレラ話みたいに主人公はかならず苛められたりして、美しい王子様が出て、決まっているのね。
げっこう皆夢中になって見た。

3）漫画の人気がある理由が何だと考えますか。

アイリーン

アイリーン　：　私は暇な時漫画を見ることが好きです。relaxすることも出来るし、考えることも出来る。たとえば、「金田一少年の事件部」を読みながら、いつも誰が犯人だろうかと考えるのが本当に面白い。
廉　：　私も暇な時漫画を見ますけど、私の理由は、別に考えてなくてもいいから。。です。私には何も思わず、ただ絵を見ながら「それがこうしてこうになるね」と思います。「金田一少年の事件部」は私も好きですけど、わざわざ悩んだり、考えたりすることはありません。
アイリーン　：　そうですか？はは、全然違う、違うね。では、どんな漫画が好き？
廉　：　やはりスポーツ漫画ですよね。とりあえず、読みやすいから。 あ、金田一で、問題がありますが、知っていますか？主人公の金田一と美由紀は、ずっと、最初から最後まで、高校生ですよ。一体、どうして？
アイリーン　：　そうね。はは、でもそれは漫画だから。。漫画は現実とは違います。
廉　：　それはそうですけど、すこしだけは現実と似合う点があるほうがよくないですか。
アイリーン　：　まぁ、面白い質問。 分からなかった。 私は漫画の内容だけ見たから。ストリがとても面白いから。
廉　：　そうですよね。面白いでしょう。

森本

森本　：　数多くの人に人気があるって理由は。。。大人の人も含めて、サラリマンの人が電車の中で読んだりしている？人気がある理由。うむ。。。暇だからじゃないの？
読みたい。。。読者が期待しているような体とか。。。姿。
廉　：　女の子達の場合もそうでしょ？やはり出て来る男がハンサムでがっこいいし。。。
森本　：　そうか。そう、男の人が読む漫画の男は凄い強くて、迫力があるようなひとばかりど、少女漫画なはあんまりマチョな人って、むきむきするはいないし、みんな綺麗な、美しい美少年色とかがしろような感じ

で。。。
少女漫画の人気の理由かもしれないですね。
実際なはいない完璧な男の人がいっぱい書かれてくるから。。。憧れる世界。
追いかけたい気持ちで、理想な姿。現実的にはあまりないから。
歌手とかも漫画見たいな気持ちで見るかもしれないですね。スマップとか、モー娘とか。
人がほしいものを出せば、売れる。
漫画はそうかもしれないですね。売れるため、人がほしい姿をよく考えて、皆が興味があるがっこいい男を作るかも。

残念ながら、相手の森本さんはあまり漫画を好きではなくて、アイリーンは好きだけど、時間が短くて深い話はできなかった。
アイリーンさんとの話が短かったのは二人がまだ日本語実力が足りなかかったので。話したいものを表現できないことは悲しいことですよ。 その面において、日本人の森本さんが本当にうらやましいと思いました。

3. 結論

約二ヶ月にかけた総合授業を通じて私の考えを片付けて、相手二の方と自分の考えを換えながら多い考えをするようになりました。私が漫画を読む理由、どうして好きだろうか、そして漫画はどんな理由で読まれるのか。

人々はなぜ漫画を読むのでしょうか。広くて考えなくて、日本と韓国だけ見ても、何百万人に至る人が漫画を読みながら楽しんでいます。特に、日本は漫画の国と言われます。

多くの人達が電車の中で漫画雑誌を読んでいて、ある若者達は漫画のキャラクターみたいな服を作って着て街に出て来ます。

そうしたら、なぜ漫画を好きな理由は何でしょうか。

読みやすいから暇つぶしで良いだ、と言うのが一般的には一番大きな理由でしょう。漫画は見やすくて、深く考えなくても良いです。さらに、日本の漫画雑誌は値段がかなり安いです。漫画雑誌の発行間隔も短くてあまり待たなくても良いです。

けれども、読みやすい、と言う以前、漫画が見せる感想のために読むかもしれないと思っています。
実際に、漫画を読む人達がほしいのがなければ、漫画を読む理由がありません。そしてそれが漫画が生まれて今までも人気がある、一番大きな理由かもしれません。

私にとっての漫画はその二つの理由を全部持っています。憧れている感想の世界、そして複雑な生活を忘れて休まれる休息においての漫画。

私にとって、漫画が持っている意味は変わらないはずです。

『色眼鏡をかけて見た世の中』

季 美 妍（イ ミ ヨン）

目次

Ⅰ。動機
Ⅰ。ディスカッションⅠ―　テット
「偏見は作られたモノ！だから、そのまま信じてはダメ！」
ディスカッションⅡ―　松住紘樹（まつずみこうき）
「人の意見を全部偏見というのもダメ。自分が考えることが大事！」
Ⅰ。結論

動機

現代の技術発達のおかげでいろんな情報を手に入れるのが安くなった。しかし、その情報というのが一方的に私が受けているからちょっと気を付けて受けたほうがいいと思う。

私は映画、本、人から聞いた話を基づいていろんなことを想像してきたが、実際に言ってみたりしながら直接体験して、それが現実とまったく同じではないことに気が付いた。

それで、経験していないことに対して嫌がったり、軽蔑したり、訳もない憧れたりするのはよくないと思っている。

特に、私がこのようなテーマを選んだ理由は日本に着てからいろんな人に会って、私が持っていた偏見がとても悪かったのに気が付いたからだ。いろんな国の人にあって話合いながら今まで持っていた思いがずいぶん違ったのを知った。日本の場合はもっとそうだった。

私はいままで日本の人は他の国の人と違いかも知れないと思っていた。いくら辛いのがあってもぜんぜん人に表さない人だというイメージだったかな。日本人の代表的なイメージといえば本音と建前を挙げられる。それで、感じたことを正直その場で話したり、嫌なことがあったらすぐ言ってしまう私にとってはその面が難しく感じさせた。

どうして勝手にそう思っていたのかな？　実際はそうでもないのに。

もともと韓国人は歴史的な理由で日本に対して悪いイメージと偏見を持っている。これは昨日、今日の問題ではないから歴史的な話はしたくない。とにかく私も韓国人だから小さな時から耳にたこができるほど聞いたのでそう思っていたが、実際に日本の人たちと交流しながらだんだん変わった。しかし、子供の時から習ったり、聞いたり、見たりした日

本の印象はすごく強かったし、冷たかったのですぐ忘れられないことも事実だった。

今はたいてい変わる一方だと思うが、何年前まで知らせていた日本のイメージは人に偏見をもたせる。

だとえば、日本の人は人に迷惑をかけてはだめだし、礼儀正しい、秩序をよく守るなどと言われた。それで、電車の中で新聞を読む時、４分の一に裁たんで読んだり、運転する時信号をしっかり守ったり、ぶつかる時まず誤ったりすると聞いた。

何年前か流行ってた番組の中で日本と韓国の交通秩序を比較したことがあった。

横断歩道の前、車を止める線があるがたいていの韓国の運転者はその線を守っていなかった。しかし、日本の運転手はたいていその線を守っていたのだった。

また、私の町に日本の家族が住んでいた。二人の子供は町から遠いところにある日本人小学校に通ってた。冬が始めようとするなかなか寒い日だった。教育方法のひとつかもしれないが、半ズボンに半ソクスの姿で何時間もかかって歩いて帰って来るその子を見て町のおばさんたちがびっくりして話したのを見たことがある。

韓国人の立場で見るとあれは本当に酷いことに見える。韓国の母たちは風を引こうかと心配して、２枚ぐらい重ねて着させるのが普通だから。日本人の立場で見ると教育方法の一つだから当たり前だし、むしろ韓国人が甘やかすと見えるのも分かる。

今はいろんな見方で理解しようとしてますが、その時には日本人は酷い人だということばかり考えてた。

同じ事件にあってどう思うのかにとって違いに理解できる。自分の立場で見たことが事実のように話すのは正しくない。

いろんな例を通じて日本人は韓国人と違うし、みんな真面目で公衆秩序をしっかり守るし、その反面心は冷たいから友たちになれないと思っていた。

しかし、何回か日本にきて、私の目で見た日本はそんなに完璧ではなかった。赤い信号なのに渡る人々、禁煙場所なのにタバコを吸う人もいるし、酔っ払って街で横にしている人もいるし、韓国ともあまり違わないし、普通の国と同じような国だった。

ここで大切なのは、私が日本に来て見たことは今まで聞いたことと全然違ったという発見から始まる。

いろんな想像に囲まれて、日本人に会うのが始めにはなかなか難しかったが、今は意外に話がよく通じるし、あまり厳しくないし、冷たくない、あまり違わないことをして、日本人と付き合っていた。

このような経験を通じて、偏見を持つのは自分なりの考えによって知らないこと、経験していないことを判断するのだからよくないと気が付いた。

私が見たり聞いたりするのはほんの小さな部分だし、実際にはもっと大きいし、テレビとか本は主観的な意見を表すものだし、必要によって変えられるのも分かった。

それで、偏見に対してどうして偏見を持つのが悪いのか、どんな偏見を持っているのかなどを話し合いたい。

私にとって偏見はいろんなことに対して壁になるからよくないと思う。

ディスカッションⅠ　－　テット（別科生）

「偏見は作られたモノ！だから、そのまま信じてはダメ！」

美妍　－もし国に対して偏見がありますか？

テット－偏見とはいえないが、日本人はお金持ち、韓国人は暴力、中国人はお金を大事にする、台湾人はお金持ちのイメージがある。

美妍　－あなたはどんなことに対して偏見を持っていますか？

テット－私はあまり偏見を持っていない。返って人によって偏見されることが多い。

美妍　－たとえば？

テット－よく知らないはずなのにプレーボイとか女が大好きな人と言われる。
また、歩き方を見て生意気だとか自信満々だと言われる。

美妍　－そんな時、どうでしたか？

テット－気持ち悪かったです。

美妍　－偏見を持つことについてどう考えますか?

1)テット－偏見を持つのは人間なら誰でもそうだから当たり前だと思う。人間の特徴みたい。大切なものは偏見をそのまま認めないで事実を確認すべきこと。

美妍　－主に人間関係で偏見のせいでいろんな問題が起こっているらしい。そんな経験があったら話してください。

2)テット－友達の間で実際にあったことがなくてもなんとなく悪いから会わない方が言いと言われる人がいるが私は構わなくて会います。ただ、見た目で人を判断するのはよくないし、相手によって合うかも合わないかもしれないから。

「あのひとは普通ではない、なんかおかしい」と言ってるがこれは誰の意見なの？みんなの意見ではなくてたぶん話している人の個人的な意見だから信じられないことだ。

美妍　－それではだれでも勝手に誰かを判断してはいけないし、自分が感じたことがまるで事実のように話してもいけないでしょう？
自分の考えを伝えるだけで他の人に偏見を持たせるから。

テット－自分と会う人と会わない人がいるから、私と会わないといっても誰かとは会うから。そんなこと経験したこともありました。

美妍　－実は私が偏見をテーマと選ぶのは今まで日本に対していろんなイメージをもっていたが、実際の日本とはちょっと違いました。（説明省略）

3）テット－それは国の問題ではない。人の問題だ。人によって違うのだから全ての国民とか国がそうではないことを考えなさい。

美妍　－うん、分かりました。本当にいいイメージを持っていた国の人の中には悪い人もいるわけだろう。逆の場合もあるわけですね。なるほど。

テット－偏見は事実ではない。信じることではなくて参考することだとおもう。

美妍　－分かりました。私はステレオタイプの人間かもしれないが、今からそんな考え方をちょっと変えなきゃならないと思う。ありがとう。

1) 人間というのは主観的、感情的だから好き嫌いがあるのはしようがないが人間には思考能力があるからこれに基づいて思えばいいと思った。

2) 偏見というのは人から聞かせたり見せたりししてもらったことから始まる。どこまで意見、作られたものだと思った。また、私も誰かに偏見を持たされるから、もっと真剣に考えて話さなければならないと思った。

3) 私たちが見られることには限界があると思った。小さな部分を通じて全体が分かると思うのから偏見が始まるのではないかと思う。たとえば、同じことも状況によって違いに見える。それで、新しくなんかを知る時にはいろいろと考えて見ようとする努力が必要だと思った。

ディスカッションⅡ　－　松住紘樹（早大生）

「人の意見を全部偏見というのもダメ。自分が考えることが大事！」

美妍－もしかして偏見なんか持ってますか？

松住－うん、あります。持っちゃいけないと思うんだけど。日本人らしい感覚かも知れないが、外国人がテレビとかラジオに出てきれいな日本語で話しているの見るとなんとなく威圧感を感じたり、びっくりしたりする。一度もあったことないけどいやな気がする。

なぜなら、外国人は日本語をきれいに話せるはずがないと思っているから。それも偏見の一つだろう。

美妍－他に何がありますか？

松住－今はないけど、何年前まで、繁華街で茶髪の人とか、ピアスをする人にあったら遊んでばかりしているひと、不良学生、悪いと普通に判断した。それで、中学生、高校生の時、親しくなりたくなかった。

1）美妍－それでは、逆に偏見をもって判断された経験は？

松住－この人は真面目な人で捕らえられることがある。心外で。

私が考えることは真面目な人はつまらない人間かな。で、相手によって言われると本当のことを矯められる。

美妍－本当の自身と違いに評価されたが人の目を意識して行動しているって？

松住－そう。そのままの私を表現するには制約になるわけ。評価を請わしてしまう。

美妍－私は新しいものとか人、とにかく新しいものに対して体験しようとしないほうです。ちょっと怖がっているのかな？それで、もっと他人の意見に依存する傾向があるらしい。

松住－そうではない。まだ、他の人が経験してないものを私が一番早く使うんだともい

える。

美妍－＾＾今からがんばります。

偏見を持ってましたがこれを無視して自分がやりたいことをしたことがありますか？そうじゃなければなんか偏見を通じて新しく習ったことがあったら話してほしいんです。

松住－ホームレスや路上生活者に対して今までできるだけ避けるべきだとか会ってはいけないと親から聞かせた。それで、私も紛れもない偏見も持ったり、かわいそうな人たちだとおもったりした。この思いも偏見だが。しかし、ボランティア活動に参加してあの人たちに会ってから思っていたことと違ったので見直した。何も持ってないように見えるけど自分なりの生活を続けながら幸せを感じたり、自分の過去のことを反省したり大変な思いをしながら生きていた。

皆に無視されたり、非難されたりしても直接会って見たら勝手に判断できないだろう。彼らを見ていると自分が浅ましく見えてくる。

美妍－目で見えることだけですぐ判断して偏見を持ってしまう傾向があるがやっぱり悪いだろう。それでも、視野を広がって考えるとなんか文化とか国の場合も同じだと言えますか？

２）松住－必ずしも偏見だと言えないこともある。時代が変わっても根本的で変わらないこともあるから。ずっと続けてきているのもあるから無視してはいけない。

美妍－偏見を持つことに対して一言お願いします。

松住－生きてきた環境の中でいろんな人から聞いたことに影響された考え方だと思う。

だから、そういう作られた偏見を事実のように認めては悪いと思う。

１）　本当はそんなはずないのにただ外見であの人はどうだろうと判断するのはとても悪いと感じたところだ。正直言えば、私も時々人によって言われる。とにかく、誉められることだし、相手にいいイメージを伝えたいから本来の私と違う私になる時がある。

２）　難しい話。実際に経験していないけれどみんなが認める事実というものもあるから。たとえば、両親から注意される時もあるし、いろんな話を聞かせてもらう時もある。その時、それは直接に経験したこともないし、偏見だと思ってはいけないという意味だと理解した。人生の先輩として先に経験したことを基に自分と同じような間違いをしないように案じて聞かせてくれるのだから。そんな場合、必ずしも偏見だと言えないと思っているそう。やはり、いろんなことを聞いて鋭く分別するのが必要だと思う。

結論

色眼鏡をかけて見る世界はどう見えるか？

そこには確かに見取れないことがあると思う。自分に見えることしか見られない。

今まで、色眼鏡のせいでいくらいいことがあっても逃がしていたのかを思ったら、本当にもったいない。

たぶん、偏見をもって生きることと同じではないかと思う。

同じように見えないこと、経験できないことがある。それが、いいものであっても見えなかったりすると、それは不幸なことではないだろうか？　また、あなたにはいろんないいところがあって見せようとしても、相手が色眼鏡をかけたまま見てくれないとそれも不幸だと思う。

同じことであっても見方、どんなことに関心を持っているのかなどによって見えることが違う。

本質は変わらずそのままが自分が見たいことだけ見たり、見たことを自分の考えで判断すること。それをまるで皆の意見のように、全部がそうように話すことから偏見が始まるのだ。

人間は多様だし主観的だ。それが人間の長所ながら限界だと思う。また、世の中には完全な真理はないと思う。

動機を決まっていろんな人たちとディスカッションしたり、話したりしながら今まで分かってなかったことに対して新しく分かるようになった。

私は井戸の中の蛙（かえる）のように見えることだけ見てきた。だから生きながら会える珍しいチャンスを逃したことも多かったかもしれない。本当に愚かなことだったと思う。

もし、私が日本に来なかったら今感じている日本のいいところを知らないまま、一生日本は冷たくて厳しい国だと思うだろう。それよりもったいないことはないと思う。

それで、今までは新しくなんかを始まるのを怖がって、自分が経験しようとすることより誰かに聞いてもらってきたがそうしないようと思う。

今回の総合授業を通じてはっきり自分の問題に気が付いたし、なぜそれを変えなければならないのかを分かった。

十人十色という言葉がある。人間は皆違う。それで感じたことも考えたことも同じではない。問題になるのはそれをそのまま受け取るのだ。

誰かになんと言われても受動的にもらわなくて、本当はどうか、何がどうやって違うのかなぜ違うのかを繰り返して考えようとする姿勢が必要だし、大切だと思う。

友情

ガンスフ　ムンフトヤ

目次：

1. 動機
2. ディスカッション
   ＊あなたにとって友情とは？
   ＊友情のいい面と悪い面について
3. 結論
4. おわりに

動機

私自身、中学校のころにいちばん大切なのは友情の関係を身にもって学ぶことだといつも考えていたのでこれには勇気つけられた。友情は誰でも知っている言葉だけど、誰でもがこれを身につけているとはかぎらない。友情は生まれもって出てくる本能じゃなくて人生のどこかで経験しながら学んで身につけるものだと思う。友情の大切さというのはいったい何なのか。もちろん、人生はそれぞれ自分の友情について考えもっているだろう。しかし、友情は私の人生にいらないと思う人もいるかも知れない。

私たちの人生に悲しいときでも、楽しいときでもいつもそばにいて支えてくれる、私たちの信頼に応じてくれる人いることが大切だ。そんな大切な人を得られる手段のひとつは友情だと思う。

人生は友情の力を信じることが必要だ。力というのは、物やお金とは違う。財布からお金取り出すように出せるものではなくて、普通は思ってないときに出たり、肝心なときに出なかったりするものだと思う。私には友情の力は何よりも大事で、そんな力をあげる人は大切な友達だ。私たちの気持ちを支えてくれて、信頼に応じてくれることなどから友情の力が出ているのではないだろうか。私自身、小さいころから今までずっと付き合っている友達がいる。彼女はとても冷静で、温厚な人だ感心している。私は悲しいときや自信がなくて決めにくい問題があったら一番さいしょに彼女のところに行っていっしょに相談する。そんなときに自信をもって、心強くなるような気がする。確かに、気楽なときでもいっしょに楽しむ。私にとっては、どんなときでもそばにいて、力を入れてくれる人は大事な親友と思う。ところが、＜支える、信頼に応じてくれる＞というのはいったいどんな

意味をもっているのでしょうかと思う人がいれば自分でよく考えてみれば、私のような考えもつかもしれない。

世の中に人間はいつも裕福でやっていけることが何よりも難しいだろう。とにかく、友情がなかったら、いくら裕福な人でも悲しくなる。だから、友情関係は誰にも大事だと思う。

私にとっては、友情とは何ものにも換え難い生涯の宝である。

ディスカッション No1

あなたにとって友情とは？

誤発勲さんはお箏のサークルに入ってたくさんの友達をできてとてもうれしいかったといっていたから、誤さんは友情についてどんな考えをもっているのか聞こうと思った。

私：誤さんにとって友情とは何なのか？

誤：友情とは誰にも大切で、もしなかったら人間はこの世の中の楽しさや悲しさを感じないと思う。友情は私にとっては人から人の間につながっている目に見えない複雑な橋だ。これを具体的に言えば：友情は人の心を明るくなれるし、他人と仲良くなれるものだと思う。人間の一番大事なものは心だから、その心を磨いてくれる人は友達だ。

私：そうですね。私もそう思う。誤さんは悲しいときにはどうしますか？

誤：私は悲しいときには一人でいることが嫌いだから誰かといろいろなこと話して心を軽くするんだ。だいたい、親しい友達と会って、心を開いてすつきりする。ムギさんは？

私：私も一人で寂しがることが大嫌いだ。誤さんと同じように友達と相談したり、心を開いたりする。

友達と話していると、自分一人では思いつかなかったことが、話しているうちに生まれてくる、という経験は誰にもあると思う。例えば：自分ひとりの頭で考えていたことがない考えや意見などいろいろあるじゃないか。誤さんはこれについてどう思う？

誤：そうだね。それはそうかもしれない。私は友達と話しているうちにいろいろなことを思い出したり、経験をしたり、新しいこと聞いたりする。しかも、一人では思いつかなだったこともある。例えば：スポーツのチーム仲間で、自分一人じゃ出てこないような動きや方法などを学んでいた。

私：そうそう、私にもそんな経験があったよ。こんな風にいろいろ考えると友情の関係からさまざまなことが生まれてくるような気がする。

～誤さんと話しているうちに、誤さんは友情について私と同じように考えをもっていることが分かってとても嬉しかった。友情について人間はそれぞれ考えが違うけど、一般の方々は私と同じように考え持っていると思う。友情の関係から私たちがいろいろなことを学んだり、感じたり、経験したりする。人間というものは世の中生きている間、自分の幸せを自分で作って、自信をもって、大事にするべき家族や友情を心から尊敬するのが大事だ。

ディスカッション No2

友情のいい面や悪い面について

私は自分と同じ出身のドヤさんとデスィカッションした。ドヤさんと私は知り合った 4 年間たっているから友情のいい面や悪い面について話そうと思った。私たちはモンゴルにいるときに同じ大学の同級生だったけど、そんなにいい友達ではなかった。しかし、去年 9 月にここで留学してから、とても仲良く友達になった。

私：私たちは友達として友情の関係について話せばとても面白いと思う。ドヤにも、私にも小さいころから付き合っている友達がたくさんいるのが当然だ。ドヤは友情のいい面と悪い面についてどう思う？

ドヤ：友情の関係にはただ言い面だけあるわけじゃないんですね。もちろん、何かのものにいい面や悪い面、両方ある。友情のいい面とは苦しいときに手伝ってくれたり、いろいろ教えてくれたり、楽しんだりなどたくさんあると思う。ムギはどう思う？

私：そうですね。友情というものにたくさんのいい面があるから、私たちが友情の関係を身につけていると思う。もちろん、ドヤの言っていたとおりお互いに支えてくれるし、気楽になるなどたくさんのいい面がある。

友情の悪い面はもちろんたくさんあると思う。私の付き合っている友達の中わるい影響を受ける子あまりいないから悪い面について詳しく分からないんですけど、もちろん、悪い性格の子と友達になれば、悪い面たくさん出てくる。例えば：悪いことに誘うし、いろいろな悪いこと教える。ほかに、みなで盛り上がって悪いことしてしまうとか、信じて話したものをほかの人に話してしまう悪い友達もいる。

友情はいくら大事だけど、一生のいい友達をつくるのがそんなに簡単なものではない。

ドヤ：でも、悪い性格の友達もいい影響を受けるでしょう。

私：もちろん、悪い性格の人はみんな悪い人ということじゃない。その中いい人、いい影響を受ける人がたくさんいる。

〜友情のいい面や悪い面について話し合っているときに気ついたものは「私たちが友情を大切にするけど、いい面や悪い面についてそんなに考えてことがなかった」ことだ。もちろん、区別して考えたことがなかったから、話し合うのがちょっと大変だった。

。

結論

「友情」について二人の女性と話し合ってみた。二人とも、私と同じように友情の力に信じて、友情の明るさを感じて、大切にしていることが分かった。

私たちには、友達が一人もいなかったら、どうなると思う？　もちろん、人生は悲しすぎて、ストレスがたまるだろう。私たちは何かに諦めたり、寂しがったりするときに友達が相談に乗ってくれて、いろいろなアドバイスを受けるでしょう。そんなときに私たちは自信を持って、気強くなるし、どんな大変なことあっても勇気出して困難を克服する。だから、友達の一言のアドバイスが私たちの生涯を支えることがあるかもしれない。その上、友情の関係から私たちはいろいろなことを学ぶし、経験するなどができると思う。

友情のいい面と悪い面について皆さんどんな考えもっている。私にとってはいい面はもちろんお互いに心を支えてくれたり、楽しんだり、何かに諦めたときに励ましてくれたりするなどたくさんある。でも、悪い面についてそんなに詳しく分からないけれども、私の見方では「友情という名前の下にまじめな友達を悪いことに誘え、悪い影響を与えている人は友情の悪い面の根拠になっていると思う。

私たちの間に生み出している友情というものを大事にするのが何よりも大切だ。

おわりに

レポートの始めから最後までずっと友情について書いた。ちょっと難しいかったけれども、何となく書き終わって嬉しいだ。クラスメートの学生たちからいろいろなアドバイスをもらって、皆さんのおかげで、やっと完成した。

ほんとうにありがとうございました。皆さんお疲れ様でした。